

鼻からの胃カメラ（経鼻内視鏡検査）をうけられる患者様へ

I：目的

食道・胃・十二指腸に病気がないかを調べ、適切に診断し治療方針を立てるために行います。

II：検査方法

- ① 先ず、胃の中をきれいにするお薬を飲みます。
- ② 鼻腔内を内視鏡が入るように広げるために、両方の鼻に2回ずつお薬を入れます。
- ③ 通りが良い方の鼻を確認し、そちらに麻酔のお薬（絆助伊）を注入します。
- ④ 内視鏡と同じ太さのチューブを鼻から挿入し、鼻腔内を広げます。
- ④ 内視鏡を鼻から挿入し、食道・胃・十二指腸を詳細に観察します。
- ⑤ より詳しく病変や病気を把握する必要がある時には、下記1～2を行うことがあります。
 1. 色素内視鏡検査：色素液（体に無害の青い液）を散布し、詳細に観察すること。
 2. 病理組織検査：病変から少し粘膜を摘み取って、顕微鏡で詳しく組織を調べること。

III：偶発症について

日本消化器内視鏡学会第5回全国調査報告（2003～07年）で、上記③の薬（キシロカイン）によるアレルギーやショックなどの偶発症は0.00055%（100万人に5.5人、死亡例はなし）と極めて少ないながら報告されています。

胃カメラ全体でも出血や穿孔などの偶発症が0.005%（10万人に5人）、死亡例は約100万人に1.9人の頻度と報告されています。但し、これらは全て口からの胃カメラでの報告です。

当院ではこの事を十分に認識したうえで検査を行いますが、胃カメラを受けられる方におかれましてもご理解のほどお願いします。

IV：その他

現在服用している薬のある方は予め教えて下さい。薬によっては、病理組織検査ができません。

どうしても内視鏡が通らない、鼻の痛みが強い、鼻血がでる場合があります。内視鏡が通らない時や痛みが強い場合は、口からの胃カメラしかできません。

以上の説明で鼻からの胃カメラに同意される方は、同意書にご署名下さい。

20 年 月 日

栗東はた内科医院 院長 畑 和憲

〒520-3032 栗東市荻原233番地 TEL：077-554-5550

鼻からの胃カメラ（経鼻内視鏡検査）同意書

20 年 月 日

氏 名： (自署)

代諾者（続柄：)

氏 名： (自署)